



南アルプス市立 白根御勅使中学校
学校だより
「志を持ち 道を拓く生徒」(学校教育目標)

令和5年
最終号
編集 校長 岡こすえ

<http://www.midai.m-alps.ed.jp/> 白根御勅使中学校ホームページにも毎月掲載しています

祝 第33回卒業証書授与式～卒業生の門出を全校生徒で祝福！～

式 辞

校庭の桜の蕾が芽吹きはじめ、春の柔らかな日差しが感じられる今日の佳き日に、南アルプス市副市長 内田淳様を御来賓としてお迎えし、保護者各位の御参列のもと、ここに第33回白根御勅使中学校卒業証書授与式が挙行できますことに、心より厚く御礼申し上げます。さて、晴れて卒業を迎えた卒業生の皆さん、皆さんに今、手渡した卒業証書は、義務教育最後の中学校の課程を立派にやり遂げた証です。卒業おめでとうございます。

今から三年前、中学校入学への期待に希望があふれていた時期に、凶らずも全国の学校が一斉に臨時休校することになりました。今は亡き、安倍総理によるあまりに唐突な発言に、学校現場では、これまで経験したことのない無理難題を突き付けられることになり、教育委員会のご指示を仰ぎながら、緊急事態の対応に奔走することになりました。この発言を機に、今まで当たり前だった日常が一変しました。何よりも当事者であった皆さんにとって、「友達に会えなくなる」「勉強はどうなるのか」などの不安の波が一気に押し寄せてきたのではないのでしょうか。

臨時休校が解除され、やっと中学校に入学してからも、相変わらずマスク着用の学校生活が続き、さらに分散登校や分散授業など、その後の学校生活も入学前に抱いていたイメージとはかけ離れたものになってしまったかもしれません。

私が皆さんに出会い、共に過ごしたのは、今年限りのわずか一年間だけでしたが、皆さんとの思い出は、実にたくさんあります。最も印象深かったのは、2日間にわたり開催された学園祭の取組です。活動スローガンである「十人十色～今までの色を超えて～」の言葉どおり、皆さんは、最上級生のプライドをかけ、仲間や後輩と実に果敢に新しいことに挑戦し、成功と感動を巻き起こしてくれました。また、新入生歓迎会では、迫力のある応援のパフォーマンスを披露するとともに、まだ、入学したばかりの新入生に優しい眼差しで温かい言葉をかけ、先輩としての頼もしい姿を見せてくれました。そして、学校行事だけでなく、普段の学校生活もけじめがあり、さわやかでメリハリのある態度がとても印象的でした。

一日のスタートである朝読書の時間になると、友達のおしゃべりをやめ、それまで賑やかだった教室の空気が一変し、とてもよく集中していました。各教科の授業では、小笠原流礼法を大切にされた美しい所作で丁寧にあいさつをし、授業の最初に示される「めあて」を目標に、互いの意見を聴きあい、学び合い、自分なりの考えや「正解」を文章や言葉で表現する等、一連の活動がとてもよくできていました。そして、主体的に自分の考えを安心して発言することができる3年生の親和的な学級の雰囲気は、一組も二組も、本当に素晴らしいものでした。部活動に対する熱い思い、そして仲間や後輩を大切に、励ましあい成長していこうとする姿勢など、卒業生の皆さんの振る舞いの一つひとつが、私たち教職員に大きな希望を与えてくれました。このように、皆さんは、「上級生が下級生の手本になる」という目標を行動で示し、学校だより等を通じて御勅使中学校区の地域に誇れるまでに深化させてくれました。



こうとする姿勢など、卒業生の皆さんの振る舞いの一つひとつが、私たち教職員に大きな希望を与えてくれました。このように、皆さんは、「上級生が下級生の手本になる」という目標を行動で示し、学校だより等を通じて御勅使中学校区の地域に誇れるまでに深化させてくれました。

本校は、4月から学校名が変わります。「南アルプス市立白根御勅使中学校」の前に「小中一貫校」が冒頭に付け加えられ、文字通り小学生からも尊敬される中学生になることが求められます。そのための確かな礎を築いてくれた皆さんに、校長として心からお礼を言いたいと思います。そして、私にとって教師生活最後の一年間を皆さんと共に過ごせたことは、生涯のかけがえのない宝となりました。本当にありがとうございました。

卒業に当たり、自ら道を切り拓こうとしている卒業生の皆さんに、私から三つのメッセージをお伝えしたいと思います。まず一つ目です。自分とは立場の違う人の声や意見に耳を傾けられる人になってください。自分の考えを大切にすることは勿論必要ですが、人の意見を聞くことで、自分の考えに広がりが生まれます。共生できる社会を築いていくために、今後、最も大切になる力だと思います。次に二つ目です。これから、判断や決断に迷う時が必ずあります。その時は、一番大切にすべきことは何か、よく考えてください。おのずと最良の結論が出るはずですが、そして最後の三つ目です。**できるかどうかを考えるよりも、まず一步を踏み出し行動することです。「行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば、人生が変わります。」**

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。これまで、子どもたちを温かく見守り、励ましてこられたことに、あらためて敬意を表します。また、本校へお寄せいただいた多大なるご支援とご協力を賜りましたことについて、改めて深く、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。最後になりましたが、ご来賓をはじめ、本日ご臨席いただきました保護者の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和5年3月9日南アルプス市立白根御勅使中学校
校長 岡 こずえ

入賞おめでとうございます

- 西関東吹奏楽連盟表彰：清水風花
- 山梨県吹奏楽連盟表彰：佐藤美波、伊東りな、中澤萌
- 南アルプス市体育協会表彰 優秀団体：女子ホッケー部
優秀選手：堀内歌月（陸上）水間花凜・大森紗菜（テニス）
- 山梨県テニス協会会長賞：吉田陸人、菅野まな
- 中巨摩教育祭小中学校かきぞめ大会 入選 平田周希、堀田花蓮、大塚さくら、水庭心美
- 2022 小瀬チャレンジテニストーナメント 優勝 東・御勅使中 準優勝 白根御勅使中
- 県小中学校創作力くらべ中学校B部門支部入選 清水凜人、川野紗奈、河西心音、清水勝斗
大畑優奈、堀田花蓮、和田晃次朗
- 東日本6人制ホッケー交流試合 優勝 男子ホッケー部 優勝 女子ホッケー部

保護者・地域の皆様方へ

令和5年度4月より、「**小中一貫校南アルプス市立白根御勅使中学校**」と学校名の前に「小中一貫校」を付けて呼びます。今後は各小学校との縦のつながりと小学校相互の横の連携を一層深め、地域の皆様のお力添えをいただきながら効果的で効率的な教育の実現を推進していくことになります。「南アルプス広報3月号」にも詳しい内容が掲載されておりますので、ご覧ください。



◆本校教師による小学校6年生への出前授業（白根源小学校・白根百田小学校）